

大田区景観まちづくり賞における課題について

- ・第1回から第3回までの課題を簡潔に整理した。
- ・課題を踏まえて、今後実施方法を再検討する。

項目	課題
募集状況・ 募集方法 (部門等につ いて)	<ul style="list-style-type: none"> ○自薦応募が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・区民に対する啓発方法の検討 ○景観づくり活動部門の応募数が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・応募してもらえるような活動がそもそもあるか ○募集方法の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・特定テーマの設定や部門の細分化 ・景観百選(受賞者がいなくても良くて、景観そのものを評価できる)
対象	<ul style="list-style-type: none"> ○大田区景観計画適用物件が評価されない、埋もれる ○公共施設等(土木・建築)の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・区が実施する賞で区が受賞者になることは難しいが、関わった区担当者を奨励することも必要 ・区以外の受賞者がいない場合もある ○文化財の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・第1回当初は除外してはどうかとの意見があったが、文化財の中でも登録有形文化財は、失われる可能性があるため、景観賞を与える意味はある
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ○審査基準がない <ul style="list-style-type: none"> ・委員共通の認識のもと、審査できない可能性(本賞創設当初は、議論の硬直化を防ぐために審査基準を設けなかった) ・受賞理由を対外的に説明しにくい ○自薦の重み付け <ul style="list-style-type: none"> ・自薦を高く評価する傾向、審査上高く評価することにするか。
応募方法	<ul style="list-style-type: none"> ○応募用紙の記入内容 <ul style="list-style-type: none"> ・記入が応募の負担になるか。簡素化が必要か。
啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○より多くの人に知ってもらうための景観賞の告知方法(募集時や表彰時等) <ul style="list-style-type: none"> ・募集時の効果的なイベント実施 ・受賞物件・活動の公表方法(受賞理由がしっかり伝わる写真を使った公表など) ○受賞物件や活動などの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ツアーの実施やイベントでの連携
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○選外になった物件や活動の扱い <ul style="list-style-type: none"> ・次回への自動応募や応募の呼びかけ ○選外になった物件や活動に対するフォロー(自薦者やヒアリング対象者) <ul style="list-style-type: none"> ・次回への応募の呼びかけや今後へのアドバイスなどのフォロー